

2023年11月21日  
関西電力株式会社  
西日本旅客鉄道株式会社  
日本貨物鉄道株式会社  
日本電信電話株式会社  
NTTアノードエナジー株式会社  
パナソニック株式会社

## 姫路エリアを起点とした水素輸送・利活用等に関する 協業の基本合意について

関西電力株式会社（以下、「関西電力」）、西日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR西日本」）、日本貨物鉄道株式会社（以下、「JR貨物」）、日本電信電話株式会社（以下、「NTT」）、NTTアノードエナジー株式会社（以下、「NTTアノードエナジー」）、パナソニック株式会社（以下、「パナソニック」）の6社は、本日、兵庫県姫路エリアでのインフラを活用した国内水素輸送・利活用等に関する協業の基本合意に至りました。

本合意に基づき、6社は2030年代を目途に安価で効率的な水素サプライチェーンの確立をめざし、姫路エリアを起点とした水素輸送と利活用方法に関する調査、検討を行います。

各社の役割については、以下の通りです。

- ・ 関西電力：液化水素の安定調達や水素受入拠点、水素利活用先の検討等
- ・ JR西日本：線路敷パイプラインおよび水素利活用の検討等
- ・ JR貨物：鉄道による全国への水素輸送の検討等
- ・ NTT、NTTアノードエナジー：通信管路を活用した水素パイプラインの構築検討等
- ・ パナソニック：水素を使った自社製燃料電池の活用の検討等

今後、6社は各分野での経験・知見を結集し、水素サプライチェーンの確立とゼロカーボン社会の実現に向けて取り組んでいきます。

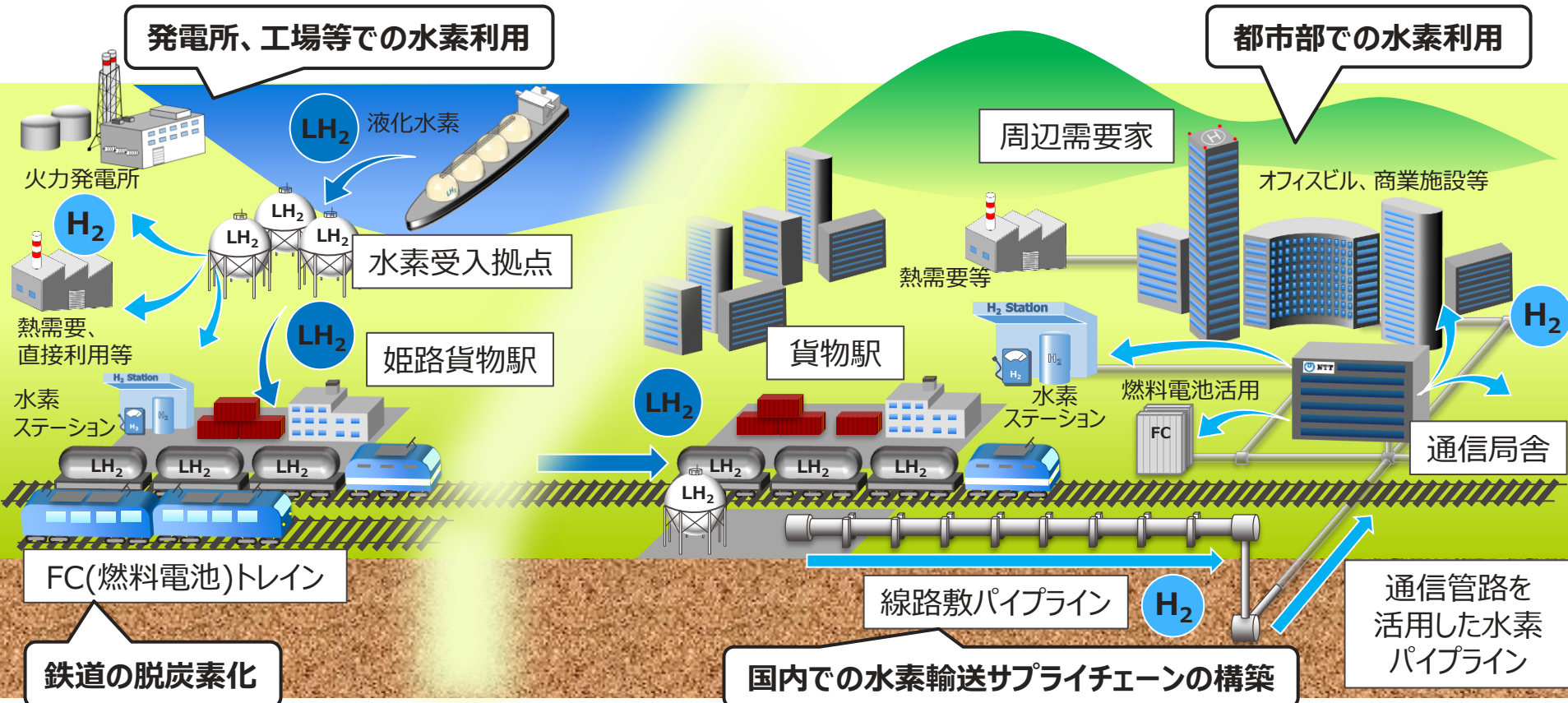
以上

別紙：姫路エリアを起点とした水素輸送・利活用に関する調査・検討概要

- 水素受入拠点周辺での水素利活用に加え、各社のインフラを最大限活用し、安価で効率的な水素輸送網を構築することで、全国各地での水素利活用を促進する。
- 姫路エリアにおいて、輸送・利活用面で検討および実証を行う。
  - ・輸送面：貨物鉄道輸送、線路敷および通信管路を活用したパイプライン輸送等
  - ・利活用面：水素利活用先の拡大（鉄道の脱炭素化、水素発電、水素燃料電池など）

## 姫路エリアでの地域利活用

## 全国への水素輸送



- 2030年代の社会実装を目指し、今後、実現可能性調査を実施し、その結果を踏まえて実証を実施予定。



- ✓ 液化水素安定調達
- ✓ 基地、水素パイプライン等の水素受入拠点の検討
- ✓ 水素利活用先の検討 など



- ✓ 線路敷パイプラインの検討
- ✓ 水素利活用の検討 など



- ✓ 鉄道による水素輸送
- ✓ 駅作業の脱炭素化 など



- ✓ 通信管路を活用した水素パイプラインの構築検討 など



- ✓ 水素を用いた自社製の燃料電池活用スキーム検討 など